

富良野市教育委員会だより

ZEROふらの

発行：富良野市教育委員会
住所：富良野市若松町5番10号
電話：0167-39-2320
FAX：0167-23-3528
Email：kyouiku-ka@city.furano.hokaido.jp

教育委員会の活動

新型コロナウイルス対策に係る臨時会の開催

4月17日 第5回臨時会 新型コロナウイルス感染症対策のための小学校、中学校における一斉臨時休業について

5月1日 第6回臨時会 新型コロナウイルス感染症に対応した臨時休業の更なる要請について

5月5日 第7回臨時会 新型コロナウイルス感染症に対応した臨時休業の更なる要請について



教育委員学校訪問

6月16日 山部小学校、布部小中学校、富良野小学校を訪問
臨時休業明けの児童生徒の様子を見てきました。



山部小学校訪問



布部小中学校訪問



富良野小学校訪問

事務局職員の紹介

令和2年4月1日付人事異動にて事務局職員が変わりました。
富良野市教育委員会に初めて指導主事が配属されました。

4月から指導主事として教育委員会でお世話になっております。指導主事は「教育における専門的事項の指導に関する事務に従事する」とあり、浅学非才の私ではございますが、このような大役を仰せつかり身の引き締まる思いです。With コロナ、after コロナなどと言われ、世の中は新しい生活様式に変化し、教育においても今までとは異なる形で教育活動が再開されておりますが、今後も持続的に児童生徒等の教育を受ける権利を保障していくため、学校における感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減した上で、教育活動を継続していく必要があります。このようななか、学校には、子どもたちが変化に積極的に向き合い、協働して課題を解決したり、新たな価値につなげていったりする学びを構築することが求められています。そのため私は次の4点を指導助言していきたいと考えます。

1つめは「つながりを意識すること」です。子どもたちには多様な見方・考え方から知識を統合し、新たな概念を形成することができるよう総合的な学習の時間や他教科とのつながり、そして学校、家庭、地域とのつながりを意識していけるようにします。

2つめは「情報を見極めること」です。何が正しい情報か、情報の真偽を問い、行動することが重要です。情報を捉えながら、適切に選択、活用して新たな価値を見出すことは身に付けさせたい学習の基盤となる資質・能力です。学校においても言語能力と同様に様々な場面において情報活用能力が育成されるよう支援します。

3つめは「見通し、内省を重視すること」です。児童生徒自身が目的や意思をもって主体的に学び、活動の中で振り返ったり、内省したりする場をつくることで学習が調整されます。これが学びのなかで適切に設定されるようにします。

4つめは「組織的・計画的に取り組むこと」です。学校全体で組織的・計画的に取り組んでいる学校は児童生徒、学校、地域の実態を適切に把握し、目的、目標の実現に必要な教育の内容等を組み立てることに強みがあります。教師が主体的に活動し、適切にフィードバックし、教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図るようにします。

「生まれれば、終わる」そんな言葉もあります。このコロナ禍もいつかは終わりを迎え、各学校の教育活動を振り返る場面が来ます。このとき、予測困難な変化に柔軟に対応し、解決の見通しを持ち、他と協働して未来を切り拓く子どもに育つと胸を張っていけるよう、教育委員会としてできる支援を創造していきたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

学校教育課
主幹(指導主事)
松原 光利

その他職員の異動

社会教育課長	吉田 等	⇒	高田 賢司
こども未来課長	山本 将誉	⇒	佐藤 保
東山保育所長	柿原 正典	⇒	山本 将誉

教育長通信 ～学びの保障をすべての子どもたちのために、今できること～

今年、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、全国的に学校が長期休業となり、子どもたちの学びの場の確保に向けた取組が求められる年となりました。特に、インターネットを使ったオンライン授業が注目される中、本市においては、令和2年度中に学校のICT環境整備を完了したいと考えていましたが、学校における通信環境整備、一人1台タブレット配備、家庭学習におけるタブレットの使用環境の整備が国の新型コロナウイルス対策事業として実施できることになりました。この取組みによりオンライン環境を活用し、従来の一斉授業から子どもたちの学びの状況に応じた個別学習や子どもたち同士が話し合い課題を解決する協働学習へ、不登校の子どもたちへの学習や相談の機会の拡充、少人数のため新しい学習指導要領が求める主体的・対話的で深い学びに制約が生じがちな小規模校においてもハンディを少なくする取組みとして遠隔交流や遠隔授業等ができるようになります。また、これまで教員の大きな負担となっていた学びの成果の個別データ化や可視化により、働き方改革にもつながるものと期待しております。時代は急激に変化しています。ダーウインの進化論では「生き残るのは、最も強い種でも、最も賢い種でもない。変化に順応できた種である。」という話がありますが、新型コロナウイルス等新たな困難に打ち勝つためには、社会環境が大きく変化したことを認識し、未来を生きる子どもたちのために、「今までこうだった」ではなく「これからはこうする」の姿勢で、学びの保障に向け環境の充実に努めていきたいと考えているところです。

教育委員会会議録（令和2年4月～令和2年6月）議題一覧より抜粋

- 4月23日（木）
 - 議案第1号 令和2年度富良野市育英基金育英生の選考について
 - 議案第2号 コミュニティ・スクール協議会委員の任命について
 - 議案第3号 富良野市教育委員会行政評価委員の委嘱について
- 5月22日（金）
 - 議案第2号 富良野市家庭的保育事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正について
 - 議案第5号 富良野市学社融合推進委員会設置規則の一部改正について
- 6月16日（火）
 - 議案第1号 富良野市教育委員会事務局組織規則の一部改正について
 - 議案第3号 富良野市地域学校協働活動推進委員の委嘱について
 - 報告議案第1号 令和2年度富良野市一般会計当初予算の報告（専決処分）について

定例会は傍聴もできますので、教育委員会に事前にご連絡ください